

## 発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育を重視した取組

令和4年12月に改訂された生徒指導提要では、生徒指導の進め方が「生徒指導の層的支援構造」（生徒指導提要p19参照）として整理されました。これからの生徒指導では、問題や悩みを抱えた児童生徒への支援を大切にしながら、全ての児童生徒を対象に、問題行動や不登校等の未然防止につなげる、発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育を重視した取組の創意工夫が一層必要になります。自校の生徒指導計画や生徒指導体制が、発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育を重視した内容で整えられているか検討し、共通実践することが大切です。

### 1 発達支持的生徒指導

児童生徒への挨拶、声掛け、励まし、称賛、対話及び授業や行事等を通じたバランスのよい集団指導と個別指導が大切です。

#### 発達支持的生徒指導の例：魅力あるよりよい学校・学級づくり

教職員が、児童生徒の「居場所づくり」を進めることで

児童生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができ、自己肯定感を高め充実感を得ることが期待できます。

児童生徒が、主体的に取り組む活動を通して「絆づくり」を進めることで

多様な他者との関わりの中で自己有用感や社会性が生まれ、仲間を支援できるよりよい集団に成長することが期待できます。

### 2 課題未然防止教育

いじめ防止教育、自殺予防教育（SOSの出し方教育）、薬物乱用防止教育、情報モラル教育、非行防止教室等が該当します。生徒指導部を中心に、スクールカウンセラー等の協力も得ながら課題未然防止教育を年間指導計画に位置付け、実践することが重要です。

#### 課題未然防止教育の例：メディア利用のルールづくり、話合い、調査、呼び掛け等

児童会や生徒会による自発的、自治的な取組を進め、家庭でのルールづくりを啓発することで

メディア依存による昼夜逆転や体調不良、食欲不振、不安、無気力などの危険性について児童生徒自身が気づき、考え、実行する動機付けになることが期待できます。

どのような方法で情報モラル教育を実施していますか。(複数回答)	小学校 (%)				中学校 (%)			
	鹿角	大北	能山	北管内	鹿角	大北	能山	北管内
①教科等の授業での指導	100	100	92.9	97.9	100	100	72.7	90.0
②学年集会や全校集会での指導	57.1	76.9	35.7	61.7	80.0	100	90.9	93.3
③外部講師を招へいしての指導	71.4	57.7	57.1	59.6	80.0	57.1	81.8	70.0
④児童会・生徒会による主体的なルールづくり、話合い、調査、呼び掛け等	14.3	26.9	7.1	19.1	20.0	64.3	27.3	43.3
⑤その他(生徒指導便り、パンフレットの発行など)	42.9	46.2	64.3	51.1	80.0	50.0	81.8	66.7

令和5年度スマートフォン等、インターネット利用実態調査より

※北教育事務所管内において、④児童会・生徒会による主体的な取組は、徐々に進んできていますが、十分とはいえない状況です。

### 3 発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育におけるチーム支援のプロセス

